

平成27年4月17日

総務企画局企画課

地方創生について

(第2回北九州市まち・ひと・しごと創生有識者会議、
第1回北九州市まち・ひと・しごと創生推進協議会について)

1 第2回北九州市まち・ひと・しごと創生有識者会議

- (1) 日 時 平成27年3月26日(木) 18:00~20:00
- (2) 場 所 ステーションホテル小倉 飛翔の間
- (3) 構成員名簿、オブザーバー(学生)名簿 資料1、資料2
- (4) 議 事 北九州市まち・ひと・しごと総合戦略策定に向けた説明について
資料3、資料4
学生とのディスカッション
- (5) 主な意見 資料5

2 第1回北九州市まち・ひと・しごと創生推進協議会

- (1) 日 時 平成27年3月30日(月) 13:00~15:00
- (2) 場 所 ホテルクラウンパレス小倉 ダイヤモンド
- (3) 構成団体名簿 資料6
- (4) 議 事 国の取り組みについて
北九州市の人口動態及び地方創生の取り組みについて
- (5) 主な意見 資料7

3 今後のスケジュール

4月28日(火)に第3回有識者会議、5月下旬頃を目途に第2回推進協議会を開催。今夏を目途に、北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定。

資料 1

「北九州市まち・ひと・しごと創生有識者会議」構成員名簿

(7名、五十音順、敬称略)

	氏 名	所属・役職
1	大 島 ま な	九州女子大学 教授
2	岡 田 知 子	西日本工業大学 教授
3	籠 田 淳 子	有限会社ゼムケンサービス 代表取締役
4	佐 藤 竜 司	i6コンサルティンググループ株式会社 代表取締役
5	勢 一 智 子	西南学院大学 教授
6	徳 田 光 弘	九州工業大学 准教授
7	羽 田 野 隆 士	北九州商工会議所 専務理事

第2回 北九州市まち・ひと・しごと創生有識者会議
学生参加者一覧表（オブザーバー）

（五十音順、8名、敬称略）

	氏名	大学	学部	学年
1	井原 康	九州工業大学	工学部・機械知能工学科	2年生
2	一木 爽	九州工業大学	工学部・機械知能工学科	2年生
3	岩元 美久	九州国際大学	経済学部・経営学科	3年生
4	浦田 咲希	北九州市立大学	法学部・政策科学科	1年生
5	織田 翔太	九州工業大学	工学府 電気電子工学専攻	大学院 2年生
6	眞木 奈津美	北九州市立大学	地域創生学群	2年生
7	宮本 唯	北九州市立大学	地域創生学群	1年生
8	吉開 由佳	北九州市立大学	地域創生学群	3年生

＜施策イメージ＞

- ・企業と学生のマッチング支援（就職希望率と就職率のギャップを埋める）
- ・地元企業の情報発信（（仮称）みらいワークスタジアム事業）
- ・U・Iターン施策の充実
- ・大学生等を対象とした地元企業でのインターンシップの強化
- ・県外就学者への地元企業への就職促進
- ・BCPニーズ調査
- ・本社機能・研究開発機能・支店機能等の誘致
- ・政府機関の誘致（特に環境関連）
- ・海外人材の研修機関の連携強化
- ・多様な働き方のできるテレワークの推進
- ・地域産業の競争力強化（創業支援、金融機関の支援体制整備）
- ・アジアの環境関連人材の育成
- 【委員意見の拠点大学による地方創生】
- ・北九州の住みやすさをアピールするロールモデルの発信
- ・U・Iターン希望人材の売り込み
- ・中小企業は採用、人材育成の力が弱い
- ・高齢者を活かしたサービス業の構築
- ・新卒者の待遇改善
- ・産業の高度化やつなぎあわせる人材の育成
- ・デザインやクリエイティブ分野の創出

しごと

<p>強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術力の高い中小企業 ・海外生活インフラビジネス ・豊富な人材（理工系卒業生 約4,500人/年） ・環境技術が優れている ・政令市で1番安い工業用水 	<p>弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス産業が少ない ・若い人（特に事務系）の就職の受け皿が少ない ・研究開発部門が少ない ・デザイン、クリエイティブ分野が弱い
<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BCPで本市に進出した企業：9社 ・高校生の市内就職率：60.9%（市内就職希望率：67.0%） ・大学生の市内就職率：23.1%（市内就職希望率：31.0%） <p>【高校・大学生等の地元就職に関する意識調査より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある市内企業を知らない ・市内求人情報がわからない ・市外に北九州市の就職相談窓口がない ・学生が希望する職がない 	

＜施策イメージ＞

- ・立地企業の受け皿となる優良なオフィスの供給を促すインセンティブ
 - ・国内24時間運用を活かした空港の利活用の促進
 - ・多様な交通ネットワークを活用した物流拠点の形成
 - ・東九州自動車道の開通を見越した集貨・創貨
- 【委員意見】
- ・環境を目玉にした研究開発部門の誘致
 - ・未利用地を活用した施策
 - ・セキュリティ等を備えたオフィスビルの整備

女性・若者の定着を目指して

＜施策イメージ＞

- ・周辺自治体も含めたにぎわいづくりの推進（フィルムコミッション、COOL北九州、MICE）
 - ・安全・安心対策の推進（政令市第3位の安全な都市）
 - ・海外からの観光客誘致
 - ・都心の遊休資産の有効活用（リノベーションなど）
 - ・婚活支援、多子世帯支援
- 【委員意見】
- ・若者がワクワクするまちづくり
 - ・マスコミを活用し、北九州ブランドやまちの良さなどの情報提供、PR
 - ・交流人口の増加
 - ・北九州に眠った様々な資源を活用し自活する
 - ・子育て、教育を対外的にPRできる具体的な施策

ひと

<p>強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優秀な技術者等の人材確保が容易 ・合計特殊出生率が高い(H25 1.55) ・子育てのしやすいまち（NPO調査で3年連続、政令市1位） ・待機児童ゼロ ・女性の活躍（政策決定等に係る会議における女性委員の参画率43.8%） ・女性の初婚年齢が若い 	<p>弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京や福岡市に人材が流出 ・高齢化の進行（高齢化率政令市1位） ・男性の育児休暇取得率が低い（H21 市：0.6%、国：1.2%）
<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Uターン希望者：17% ・市内に10の大学があり、21,000人の学生を有する 	

まち

<p>強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境施策での評価(OECD) ・BCPの拠点、情報拠点に最適な都市 ・24時間運用可能な空港 ・地震などの自然災害が少ない ・東九州道開通による交通ネットワーク強化 ・アジア諸都市とのフレンドリーな関係 ・安価な生活コスト ・フィルム・コミッション実績（「東京ドラマアワード2014」特別賞） ・リノベーション技術による遊休地の活 	<p>弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいに欠ける ・都心機能が分散 ・商店街の空洞化 ・治安が悪いイメージ ・若い人向けのイベントや商業施設が少ない ・オフィスビルが需要とマッチしていない
<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅地の平均地価が安い：政令市1位 ・民営賃貸住宅の家賃が安い：政令市2位 ・都市公園数：政令市1位 	

「地方創生先行型」交付金を活用した事業の実施について

地方版総合戦略に盛り込むことを前提に、国の「地域住民生活等緊急支援のための交付金（地方創生先行型）」を活用した事業を実施します。（平成27年3月議会補正予算事業）

事業費：約4億円

事業内容

1 地方への本社等の機能移転誘致

自然災害が少なく、人材が豊富な本市の優位性を活かし、首都圏からの本社等の機能移転・誘致を行う。

事業名	事業概要
首都圏からの本社機能移転推進事業	首都圏企業のBCP対策等のニーズ調査を行うとともに、市内BPO事業者とも連携し、本社機能の移転等の業務誘致に取り組む。

2 地元就職の促進

若者の地元就職の促進を図るため、地元企業と人材のマッチング強化やU・Iターン就職支援などを行う。

事業名	事業概要
(仮称) みらいワークスタジアム事業	高校生や大学生等を対象に、地元企業の仕事内容や様々な職業人の話を直接聞き、体験できるイベントを開催する。
北九州みらい人材育成事業	大学生等を対象とした地元企業でのインターンシップ等を推進するため、理工系人材のインターンシップのほか、文系人材を含めた協議会の設置に向けた調査研究等を行う。
学生の地元就職促進事業	県外に就学した地元出身大学生等の地元企業への就職を促進するため、首都圏大学等へのヒアリングや地元企業PR等を行う。
北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクト	本市へのU・Iターン就職希望者に対する、地元企業の求人情報の提供や転職相談、職業紹介等の支援を実施する。新たに首都圏への案内窓口設置・出張相談を行う。
若年者雇用創造チャレンジ！！事業	新規事業や新分野進出等に伴い、新たに若年者を正規雇用する地元企業に対して、当該人件費の一部を助成する。

3 地域産業の競争力強化

新産業の創出や既存産業の高付加価値化を行うとともに、研究者等の集積を図り、地域産業の強化につなげる。

事業名	事業概要
ロボット産業振興プラン強化事業	介護・生活支援ロボットやインフラ点検ロボットの開発・実証支援など「北九州市ロボット産業振興プラン」の取り組みを強化する。
環境エレクトロニクス拠点化推進事業	パワーエレクトロニクスを中心とした「環境エレクトロニクス」の拠点化推進のため、「環境エレクトロニクス研究センター」の開設等を行う。

4 にぎわいの創出

海外からの観光客の増加やまちなかのにぎわいの創出を図る。

事業名	事業概要
海外作品誘致・支援事業～アジアNo.1 フィルム・コミッションを目指して～	アジアにおいて、訪日客数が増加している国や環境技術協力等で本市と繋がりが強い国に対し、映画・TV番組の誘致活動を行い、本市のPR及びイメージアップを図るとともに、ロケツーリズムに繋げることを目的に、ターゲット国の調査とプロモート活動を実施する。
MICE 誘致推進強化事業	MICE 開催のインセンティブとなる開催助成金の拡充や誘致支援施策を実施する。
「(仮称) 学生安全・安心ボランティアサミット」の開催事業	市内で活動する学生ボランティアが一堂に会する連絡会議を開催するとともに、市内外の学生ボランティアが交流を深める「(仮称) 学生安全・安心ボランティアサミット」を本市で開催する。

5 女性の活躍

企業における女性の活躍推進や働き方改革を行うための施策を推進する。

事業名	事業概要
女性輝き！推進事業	市内における女性活躍の推進を図るため、企業向けシンポジウムの開催や女性起業家支援のあり方検討などを実施する。
テレワーク推進事業	ICTを活用した、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方（職員の在宅勤務、出張・外出時のモバイル勤務等）について、調査研究、実証実験を行う。

6 地域活動の推進

地域活動の強化を図り、市民のシビックプライドを高める施策を推進する。

事業名	事業概要
市民一斉夜間の安全・安心パトロール事業	全ての小学校区で同日・同時刻に一斉に安全・安心のためのパトロール活動を実施するとともに、世界記録への挑戦を視野に入れた取り組みを推進する。
“ようこそ北九州市に” 転入者ウェルカムパスポート事業	自治会・町内会に加入した市外からの転入者等に対し、自治会が市立文化施設（美術館など6施設）に入場できるパスポートを配付する。

7 その他

地方版総合戦略の策定等を行う。

事業名	事業概要
北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業	今後5年間の目標と施策の基本的方向を示した「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する。

第2回北九州市まち・ひと・しごと創生有識者会議の主な意見

1 学生からの意見

北九州市の現状と課題

- ・ 「北九州といえばこれ」というような誇りにできるものが欲しい。
- ・ 北九州市の良さをもっとPRしていかなければならない。
- ・ 大人と学生がこういった形で意見交換のできるのは北九州市の強みだと思う。
- ・ 北九州市に来れば、課題を解決するための思考力や行動力が育成できる教育の場があり、そこに集まってくる魅力的な学生を求める企業を集めてはどうか。
- ・ 北九州市の治安が悪くないことをしっかりと発信すべき。不発弾等の悪いニュースを取り上げすぎている気がする。
- ・ 自分自身は治安についての不安はないが、やはり家族ができれば気になってしまうので、イメージが払拭できれば不安はなくなると思う。
- ・ フィルム・コミッション等で活躍している団体の認知度が低いので、もっとPRすべき。
- ・ 近所で子ども会がなくなっていたり、商店街のシャッターが閉まっていたりと街の変化を肌で感じる。小倉駅北口開発等の新規事業も大事だが、シャッターの降りている商店街等、今あるものの活性化も必要である。
- ・ 大都市よりはゆったりとした所に住みたいが、ある程度遊べる所も近くに必要。
- ・ 東京や大阪は少し窮屈に感じるところがある。その点、北九州市は、ある程度都会で、それでいて自然もある環境がいいのでは。
- ・ 北九州はこれからどんどん発展していくと思うが、環境が悪くならないように整えてほしい。
- ・ 北九州の技術を中国にPRし、会社を誘致してはどうか。
- ・ 北九州市には向上心を持って積極的に問題を解決したり、学生団体で活動している学生が多い。

就職

- ・ 住んでいるうちに北九州が好きになり、北九州に就職をしたい。
- ・ 以前に比べて変化している街を見て、一度外に出て新しいスキル等を吸収しつついずれは北九州市に戻って来たい。
- ・ 都会に出て大きな仕事をしたいが、定年後に北九州に住みたい。
- ・ 自分自身のやりたいこと（実験・研究等）ができれば、就職場所どこでもよい。
- ・ 最初は会社に就職し経験を積み資金等の準備ができれば、将来的に起業する。
- ・ 仕事に対するイメージが湧くため、インターンシップは重要。

福岡市との比較

- ・ 福岡市には人の多さ、賑わい、店舗の多さ、珍しいところに行ったというワクワク感といった魅力がある。
- ・ 普段生活している空間ではないところに行くという特別感、非日常感がある。
- ・ ショッピングは福岡市の方が若者向けの店も多く、品数も選べないほど多い。
- ・ 雇用者数では福岡市にはかなわないので、職場は福岡市でも北九州市に住んでもらえるように子育て支援等に取り組んでもらいたい。
- ・ 北九州市の企業イメージについて、福岡市の方がすごくいい企業があるという偏見があると感じているので、学生と企業が接することのできるイベントを実施してもらいたい。

地域活動、学生活動

- ・ 地域活動の存在を知らない学生が多く、知っていれば参加したかったという意見をよく聞く。地域活動などの情報についてもっと情報発信してほしい。
- ・ より多くの学生に地域活動に参加してもらい北九州の魅力を知ってもらいたい。
- ・ 現在、ごみ拾いをする活動を行っているが、友達と一緒に楽しくできることや世代を超えた人との出会いがあるので、そういうイメージを他の人にも持ってもらえると地域活動やボランティアのイメージが変わると思う。

- ・ 佐賀県では公園を自分たちで造るイベントを行っており、北九州市でもそういった地域に愛着を持ってもらえるような取り組みをしてほしい。

結婚、出産と仕事

- ・ 結婚して子どもを産んでも育児休暇等を活用し、子どもが大きくなったら復帰して定年まで働きたい。
- ・ 結婚したら仕事に関しては妻の意見を尊重したい。個人的には、育児休暇を積極的に取得したいと考えている。
- ・ 子どもが産まれたら、どちらかが子どものそばについていた方がいいと思う。
- ・ 母親が専業主婦をしている友人は専業主婦になりたいと言っている。育った環境も大きいのかと思う。
- ・ 自分が働きながら子どもを保育園に入れることができるのかという不安がある。
- ・ いろいろな事件が発生する中で、子どもたちが安全に遊べる場所があるのかという不安がある。
- ・ 高知では、近所づきあいや助け合いの風土があり、子育てするにはいい環境だと感じた。

2 有識者からの意見

- ・ 子どもを安心して預けられる環境の整った場があればいいのでは。
- ・ 地域の良いところをSNSのようなコミュニティで共有してもよい。
- ・ 常に刺激を感じる環境がよい。そういった意味で東京が一番敏感な人たちが集まっていて情報発信している。
- ・ 人生のトータル設計として、自分に関わる人間関係を充実させることができる環境が必要である。
- ・ 地域のコミュニティは一朝一夕ではなくつながりの蓄積が重要である。
- ・ 地方創生には様々な角度からのアプローチが必要であるが、何のための施策かが見えないまま実施されているように感じる。

- 北九州の地方創生はこれだと一言で言えるものが必要である。
- 実際に育児をしている母親のリアルな意見も取り入れるべき。
- 女性が生き生きと子育てしながら働いていける環境づくりが大事である。
- 商工会議所では、各大学と連携を強くして、学生の皆さんが街中を練り歩けるような仕掛けを計画している。
- まずは働く場所がなくてはならないので、北九州で企業が活性化するような取り組みが必要である。
- 北九州市の中でも、規模の大きい企業は世界で活躍できる人材を求めているが、職場が北九州に限定される企業もある。

資料6

北九州市まち・ひと・しごと創生推進協議会 構成員名簿

(20団体、敬称略)

区分	構成員	
産業界	北九州商工会議所 会頭	利島 康司
	北九州商工会議所女性会 会長	深町 宏子
	(一社)北九州青年会議所 理事長	小森 敏弘
	福岡経済同友会北九州地域委員会 委員長	高宮 俊諦
	(一社)北九州中小企業団体連合会 会長	自見 榮祐
	(公財)北九州活性化協議会 会長	西村 韶道
	(公財)北九州産業学術推進機構 理事長	國武 豊喜
学会	公立大学法人北九州市立大学 学長	近藤 倫明
	国立大学法人九州工業大学 学長	松永 守央
	九州女子短期大学 副学長	福原 公子
官界	福岡県企画・地域振興部 部長	江口 勝
金融機関	(一社)北九州銀行協会 会長(福岡銀行副頭取)	吉戒 孝
	(株)日本政策投資銀行 九州支店長	嶋津 祐一
労働団体	連合福岡北九州地域協議会 議長	福島 昭一
言論機関	NHK北九州放送局 局長	村益 建太
	(株)毎日新聞社 取締役西部本社代表	岸本 卓也
住民代表	北九州市議会 議長	戸町 武弘
	北九州市自治会総連合会 会長	永井 博文
	北九州市女性団体連絡会議 会長	松村 佐和子
	北九州市PTA協議会 副会長・母親委員長	陣内 朋子

第 1 回北九州市まち・ひと・しごと創生推進協議会の主な意見

- この街にいるメリットがないから出ていく。もう一度行政が調整を図って産業振興を考え直すことが必要。
- 企業が北九州から離れていかないように、北九州で仕事をするメリットをしっかりと考えていかなければならない。
- 北九州の良さをマスコミなどに上手く投げ掛けてもらいたい。また、災害のない住みやすい北九州を戦略的にPRし、全国の企業に来てもらいたい。
- 北九州市は、データにも表れているように子育てがしやすいまちで、その他にも通勤の快適さ、マンションや一軒家の住居選択の豊富さ等、東京や福岡市に比べて優位な点があるので宣伝していくべきである。
- 一方、東京や福岡市と同じことをするのではなく、北九州市独自の価値観を活かした戦略で人口や仕事を増やしていけるはず。
- 東京の一極集中よりも、福岡市の一極集中を考えるべきで、北九州市独自の価値観を創出し、宣伝していくべきである。
- クオリティー国家と言われている国々でいずれも地方主権、道州制に近いような仕組みがなされており、これがどこまで推進できるかということで北九州が成功モデルをつくって、地域あるいは国の内外に知らせることが必要。
- 北九州の持ち味、強みを活かしながらも、世界から注目されるようなイノベーションを起こし続けて、ハイクオリティーなグローバルシティを実現してもらいたい。具体的には、1つはグローバル立地企業を100北九州市につくること、2つは高度人材の推進ということで産業人材育成を行うことが非常に大事である。

- アジアに近いことや来年完成予定の東九州自動車道、北九州空港といった強みを最大限活かしていくかが重要であり、注目されているスマートビット、エコタウン、リノベーション等とリンクされた北九州の情報を全国的に展開できれば人が集まり、中小企業ひいては北九州の活性化につながるのでは。
- 様々な仕組みができたとしても、国に要求することだけではなく、一人一人が本当に責任を持った行動をするということが問われている。
- 安心して子どもが産めるような社会環境をつくるための対策を行うにしても、人口減により潤沢な税収が保証されないことが前提となる。
- 北九州市立大学では、地域の創生と再生を担う人材の育成を目的として6年前に地域創生学群を設立したが、この学群の生徒は3割が地域に残っている。これは1年生のときから課題解決型の授業で地域の人と一緒に課題を発見しながら学ぶことでシビックプライドが生まれて定着しているためではないかと考える。
- 平成27年度には地域の知の拠点に大学を据える「COC+」という施策がスタートするため、本学も「オール北九州」という視点のなか、市や小中高と連携してチャレンジしていく。
- 九州工業大学では、特定の分野で日本の将来に関わるような人材を輩出することで企業の研究部門を呼び込む取り組みを行い企業誘致に成功した。現在はさらなる就職先の確保のため国の中核となる知的部門の呼び込むための議論を行っている。
- 北九州市には世界的な技術力の基盤があり、その強みを活かしていかなければならない。また、北九州の技術力を活かすため、世界の様々な国の研究機関と連携を増やしている。

- 北九州には大きな3つの特徴があると考えている。1点目はロボット、環境や自動車等の世界トップの技術、2点目はスタジアム建築等によるまちづくりの好機、3点目は本協議会等の先進的な取り組みである。今後は様々な議論を通じ、融資や投資を通してこのプロジェクトに参画していきたい。
- 賃貸アパートについては人口の減っている地域では、厳しいものがあるが、北九州についてはそれほど顕著に厳しいということはないという印象である。
- 福岡の天神にあるきらめき通りでは、土日には渋谷並に若い人が集まる。消費能力が高いわけではないが、活気を生み出しているように感じる。
- 人口減少のため地方銀行や地域金融機関にとっては非常に厳しい状況ではあるが、我々は規模を拡大し成長するために努力している。
- 新日鐵の高炉が解体となった場合は、防災面の良さやインフラ整理の利点を活用して、行政とタイアップしながら、ぜひ企業誘致をしてほしい。
- NHKは国際放送も強化していくため、地方の魅力をニュースバリューという付加価値を付けて発信することができる。
- 北九州市は他の政令指定都市に比べて公共投資額が多いが、オールジャパンで活躍できる建設業・建築業がない。
- これから到来する少子高齢化問題、さらにこれらの見守り活動、安全・安心なまちづくりの構築についても取り組みを強化していかなければならない。